



※誘導看板を目印にお越し下さいませ
 ※道に迷われた方は下記の番号へお電話下さい
 tel.076-213-5505

新築住宅内覧会開催 VOL.14

10月 8日(土) 9日(日) 10日(祝)
 10:00 ~ 18:00
 ※混雑時予約優先

家具から始まる家づくり
 zuiun建築設計事務所

zuiun
 詳しくはHPをご覧ください
 www.zuiun.jp



夏よりも暑いんじゃないかと思うような残暑もようやく過ぎ、スポーツや読書など色々なことに取り組める季節が訪れてきた気がします。そう、私も含め多くの人が楽しみにしているであろう食欲の秋です。

そんな食欲の秋に考える今回のテーマは「キッチン」についてです。

「あなたは料理をしますか？」

そう質問された時、皆様はどう答えますか。「はい」と答える人の多くはやはり女性ではないでしょうか。

日本とアメリカを比較した調査に家事の分担割合の比較があります。日本 女性 83% 男性 17% アメリカ 女性 58% 男性 42% この調査結果は料理だけに限ったものではありませんが、日本の男性が担当する家事といえば、お風呂やトイレの掃除、朝のゴミ出しがよく聞く役割分担で、料理を担当している方はあまりいらっしゃらないのではないのでしょうか。

では、「あなたは料理が好きですか？」と質問した場合はどうでしょうか。この場合は「はい」と答える男性の割合が増加します。

なぜなら、男性は休みの日に厳選食材を入れた寸胴の前に一日中立ち、最高のラーメンスープを作りあげたり、山盛りのたまねぎを炒め続け、数種類のスパイスをお気に入りの分量で調合するこだわりカレーを作ったりなど、休日コック達が結構いるからです。

昨今では、自分でお弁当を作って、会社や学校で食べる弁当男子というのも取り上げられていますが、男性は家事としてはなく「楽しみ」「趣味」として料理をする「料理好きな人」が多いのです。

したがって、家づくりでキッチンへのご要望やご意見を熱く語るのはほとんどが女性です。そう、最初の質問に「はい」と答えた女性達が日々の食事を作るキッチン担当なのです。そして家づくりを進めていくなかで、多くの方のご要望で

「キッチンからダイニングやリビングが見えるようにしたい」「洗い物をしながらテレビを見られるようにしたい」等のご要望を伺います。

このようなご要望は、キッチンが家の中で寂しい場所だったせいかもしれません。

家の真ん中に家族は集まる

ZUIUN便り Vol.18

いつの間にかキッチンには、排煙するために換気扇の付けやすい壁際に設置され、使用済みの食器や買った惣菜の入れ物など生活感を隠すために目隠しの壁で囲われ、家族の集まるリビングやダイニングから一番遠い場所で会話に参加出来ずに孤立する、そんな場所になっていく場合があります。

そんな寂しい場所ではなく、もっと開放的で楽しい場所にするために今は家づくりの中でさまざまな工夫がされています。ひとつは、キッチンの床をまわりの床よりも低くする。これは、椅子に座っている人と、立ってキッチンで作業している人との視線の高さを合わせることににより、会話がしやすく視線のズレによる違和感などを解消することが出来ます。また、壁から離れて部屋の真ん中にキッチンを設置するアイランド型キッチンを選ばれることも増えてきています。アイランド型ではキッチンまわりに壁が無いので、開放的になると共に、左右からキッチンへ入れるため、冷蔵庫だけにしか用が無い家族との動線がかぶることが無くなります。

開放的なキッチンと、家族が集まるダイニングやリビングが家の真ん中にあるとそこは家族にとって、とても素敵な場所になる。

たとえば、食事の準備をしながら目の前で勉強する子供を見ることが出来る。リビングでテレビに釘付けになって変身ポーズをとっている姿を見ることが出来る。

たとえば、食事を待っている間に飲食店のように目の前で調理工程が見られる。今なにを作っているのかを話ながら食事を待つことが出来る。早く食べたくしてお皿の準備や、出来た料理を率先してテーブルに並べだすこともしたくなる。

たとえば、出来立ての料理を食べる家族の顔を見ることが出来る。初めて作った料理を100点だと言われて得意料理のレパートリーに加えることも。

たとえば、食器を片付けながらリビングのテレビを見ることが出来る。テレビに夢中になって片付ける手が止まる・・・

調理する人にも、食事を待っている人にも楽しめる魅力がたくさんある。それは家族が集まる魅力があるということなのです。

みんなそろっての「頂きます」と「ご馳走様でした」が聞こえるお家。まさに、一家団欒ですね。

代表取締役 正理 善寛



zuiun